

# 【 歯科撮影 部門】

## ● 歯科撮影検査とは？

歯やその周囲、または歯の全体像を撮影する検査で、パノラマ撮影、セファロ撮影、TMJ (Temporomandibular joint：顎関節) 撮影、デンタル撮影があります。

パノラマ撮影は、歯や顎関節を含めた口腔全体を1枚の写真を撮影します。歯や歯茎はもちろん、下顎骨や副鼻腔の状態も観察でき、歯周囲のバランスなどを抽出するのに適しています。

TMJ撮影は、口を開けたときと閉めたときの顎関節の状態を撮影し、顎関節症の診断に有効です。

セファロ撮影は、歯列矯正治療を目的とした撮影で、毎回同一条件で撮影できるように規格化されています。上下顎の大きさやズレ、顎の形、歯の傾斜角やかみ合わせについての評価を行います。

デンタル撮影は、3cm×4cm程度の専用のフィルムを口の中に入れ、目的とする歯を撮影します。狭い範囲(1枚当たり、隣接する3-4本)の細かい情報を得るのに適しています。

## ● 装置 (使用機器)

### セファロ・パノラマ X 線撮影装置

[朝日レントゲン製 Ortho Stage AUTOⅢ]



### 歯科用 X 線撮影装置

[朝日レントゲン製 HD-70]



## ● 撮影方法・検査の流れ

1. 21番で受付をし、15番撮影室の近くの椅子に腰かけてお待ちください。準備ができましたら、放射線技師が受付番号でお呼びします。
2. 眼鏡、ピアス、イヤリング、ネックレス、入れ歯、ピンなどの頭の周りの取り外し可能な金属類は外していただきます。
3. パノラマ撮影、TMJ撮影、セファロ撮影では、頭を固定して撮影します。

撮影時間は10-20秒程度かかります。出来上がった写真は、院内のネットワークで医師のもとに送信しますので、受付表をもって外来までお戻りください。

デンタル撮影では、撮影台に深く腰掛けてもらい、専用のフィルムを口の中に入れて撮影します。撮影自体は数秒で終わりますが、フィルムの現像に1-2分程度の時間がかかります。現像が終わりましたら、出来上がった写真をお渡ししますので、写真と受付表をもって外来までお戻りください。